

令和5年度 秋田大学公開講座

資源フィールドを歩こう 話そう 感じよう！

アフリカ/東南アジア/中央アジアの可能性と将来

国際資源学部 資源政策コースでは1年生から生の英語を学びます。3年生になると約3週間にわたって海外の資源フィールドへ行き学んできました。「海外資源フィールドワーク」と呼ぶこの活動の面白さ・やりがいについて、将来世代を担う中高生にも分かりやすくお話しします。さらに国際支援、地球温暖化問題についてもご紹介します。



7月22日 土

【第1回】アフリカの言語とフィールドワーク

秋田大学国際資源学部
教授 宮本 律子

【第2回】世界の言語とフィールド言語

秋田大学国際資源学部
教授 三宅 良美

8月5日 土

【第3回】世界の経済発展と地球温暖化問題

秋田大学国際資源学部
准教授 小田 潤一郎

【第4回】エネルギー分野での国際協力
—SATREPS プロジェクトの紹介—

秋田大学国際資源学部
教授 稲垣 文昭

【日時】7月22日 土・8月5日 土
13:30~15:30

【会場】秋田大学 鉱業博物館 3階 講堂

【対象】どなたでも

【定員】50名(要申込)

【受講料】無料

【申込方法】本学ホームページ内
「公開講座お申し込み」
フォームにて受付



※個人情報の取扱いについて
この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、
本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。

【申込締切日】7月14日 金




秋田大学 地方創生・研究推進課

TEL : 018-889-2270

秋田大学 HP : <https://www.akita-u.ac.jp/honbu/>

資源フィールドを歩こう 話そう 感じよう！ アフリカ / 東南アジア / 中央アジアの可能性と将来

7月22日 (土)	秋田大学国際資源学部 教授 宮本 律子	アフリカの言語とフィールドワーク アフリカの言語と聞いてどのようなものを思い浮かべますか？音声言語と視覚言語（手話）の実態についてお話します。さらに、国際資源学部の学生が必修で参加する海外資源フィールドワークの一つ、ボツワナでのプログラムも紹介します。日本では体験できないダイヤモンド鉱山や銅鉱山訪問の様子をじっくり見てください。
	秋田大学国際資源学部 教授 三宅 良美	世界の言語とフィールド言語 あらゆる動物のなかで人間が唯一持っているものとされる言語。言語は人間の最も重要な資源です。世界の言語はどのように分類できるのか？言語の普遍性とは？さらに、言語の死（language death）、言語とジェンダーの問題などを、フィールドでのインタビューやコンサルテーション、ダイアログから得たデータをもとに話していきたいと思います。
8月5日 (土)	秋田大学国際資源学部 准教授 小田 潤一郎	世界の経済発展と地球温暖化問題 世界では依然として貧困に苦しむ人々が多い一方で、著しく経済成長してきた地域もあります。このような経済成長は、地球温暖化問題から見て何を意味しているのか？について紹介します。またそもそも地球温暖化の何が問題なのか分かりやすくお話します。秋田県に住む私たちに何ができるか一緒に考えてみましょう。
	秋田大学国際資源学部 教授 稲垣 文昭	エネルギー分野での国際協力 －SATREPS プロジェクトの紹介－ 世界では、日々の生活を手に入れられない人々が多くいます。エネルギー貧困問題と言われるこの問題の解決は、地球温暖化対策と同時に実施する必要があります。現在、秋田大学が実施する SATREPS 「地中熱を利用した脱炭素型熱エネルギー供給システムの構築」プロジェクトを通して、これらの問題解決の可能性について考えてみましょう。

申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 本学ホームページ内の「公開講座お申し込み」フォームに必要事項を入力してください。 ● 申込締切後、受講に関する案内メールを（shakoken@jimu.akita-u.ac.jp）からお送りします。迷惑メール設定等の受信環境のご確認をお願いします。 <p>※ 個人情報の取扱について この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。</p>	<p>「公開講座のお申し込み」 フォームはこちら</p> 
------	--	--